

衛生薬学分野（旧衛生化学教室）同門会

小暮健太郎

令和元年7月20日（土）に、徳島大学薬学部スタジオプラザにおいて、衛生薬学分野（旧衛生化学教室）の同門会を開催しました。田中 保 前准教授が生物資源産業学部教授としてご栄転され、久米哲也 前臨床薬学実務教育学教授（旧衛生化学教室卒業生）が昨年末にご退職されたことを機に、同門会を企画しました。薬友会名簿を元に180名程にご案内状を送付したところ、61名もの卒業生がご参加くださいました。当日は、福澤健治 名誉教授と徳村 彰 名誉教授（現安田女子大学教授）もご参加いただき、衛生薬学分野の現役学生25名も加わったので、総勢90名という大人数の同門会になりました。これまで各教授の退職記念パーティー以外に同門会というものは開催されていなかったため、これだけの方がご参集くださったようです。午後1時に開会し、最初に佐野茂樹 薬学部長にご挨拶をいただきました。衛生薬学の同門会でしたが、これだけの卒業生が集まることもないので、学部長にご挨拶をお願いした次第です。その後、福澤先生、徳村先生、久米先生、田中先生に順番にご挨拶をいただきました。特に田中先生は、故塚谷博昭 名誉教授についても触れられ、熱く旧衛生化学教室について語られました。現役学生たちの心にも、先生方のお言葉は響いたと思います。その後、インフォメーションプラザ（玄関ホール）において全体写真を撮りました。90名が1枚の写真に納まるのか不安でしたが、写真のように無事納まりました。写真撮影の後、私が薬学部と蔵本キャンパスの現状について、スライドを使って説明させていただきました。病院も様変わりをし、歯学部も白くなり、またパチンコジャンボやニコニコ食堂などが無くなった現状に、卒業生の方たちは驚かれるとともに、寂しさを感じておられたようでした。その後、福澤先生の乾杯で開宴しましたが、皆さん食事よりも懐かしい人たちのおしゃべりで盛り上がりおられました。宴もたけなわとなったところで、田中先生にご指導いただいた学生有志から、記念品と花束が贈呈されました。記念品は、田中先生が取り組んでおられたキャベツ由来脂質の研究にちなんで、キャベツを彫ったグラスと、キャベツと田中先生の教え子の名前が書かれた緑色のTシャツでした。田中先生は、とても喜ばれ、その場で嬉しそうにTシャツを着ておられたのが印象に残っています。久米先生にも同期生から花束を贈呈していただきましたが、久米先生はとても恥ずかしがっておられました。徳村先生に中締めのご挨拶をいただいた後、希望される方を施設見学ツアーにお連れしました。第一講義室と第三実習室、中央機器室、衛生薬学研究室をめぐるツアーでしたが、昔を思い出していただけたようでした。また、何年後かに同門会を開催できればと考えております。ご参集いただきました先生方、卒業生の皆様、どうもありがとうございました。今後とも、よろしく願いいたします。



<問合せ先>

〒770-8505 徳島市庄町 1-78-1

徳島大学薬学部 薬友会 総務担当 土屋浩一郎

電話 : 088-633-7250

メール : tsuchiya@tokushima-u.ac.jp